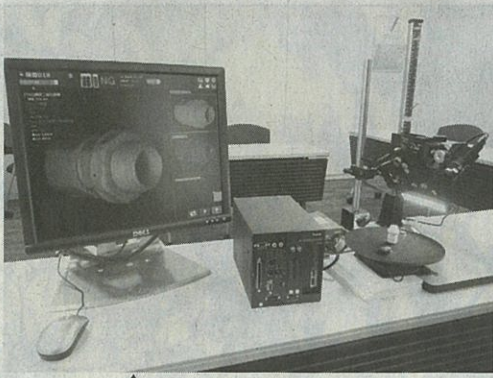


# プリファードの AIソフト併用



【京都】フォクスター（大阪府豊中市、西村智典社長、06・6155・6744）は、プリファード・ネットワークス（PFN、東京都千代田区）の人工知能（AI）外観検査と、従来の画像処理手法を組み合わせたハイブリッド型画像処理システムを5月発売する。良品・不良品で計120枚の少ない画像量で学習できるPFNのAI外観検査ソフトウェアを搭載。専門知識なしで扱え、周辺機器を簡素化でき検査の自動化、効率化を推進する。

## 少ない学習で自動検査

新システムは「AIステラコントローラ」周辺機器など含む導入コストは500万円程度から（消費税抜き）。画像処理用照明などを手がけるオプテックスグループの子会社と販売・サービスで連携し、日本と中国で展開する。販売目標は年200台。すでに自動車部品メーカーなどが試験導入を始めた。新型コロナウイルスの影響で停止した中国工場が再開が進むも、人手不足で稼働率は低い。自動化需要は高く、車部品や素材、食品業界で目視に頼らざるを得なかつた外観検査をAIがカバー。寸法計測など課題が明確な検査は従来型画像処理で行う。AI活用でカメラ・治具などの周辺機器構成を最小限にできるのも利点。多数の周辺機器が必要だった従来型画像処理システムより導入コストを半分ほどに抑制できるとい

## フォクスターが画像処理装置

新システムは「AIステラコントローラ」周辺機器など含む導入コストは500万円程度から（消費税抜き）。画像処理用照明などを手がけるオプテックスグループの子会社と販売・サービスで連携し、日本と中国で展開する。販売目標は年200台。すでに自動車部品メーカーなどが試験導入を始めた。新型コロナウイルスの影響で停止した中国工場が再開が進むも、人手不足で稼働率は低い。自動化需要は高く、車部品や素材、食品業界

AI外観検査対応ハイブリッド型画像処理システム（中央の装置がAIステラコントローラ）